

第12章 最後の晩餐と使徒たちのミサ

子どもの信仰教育を考える、このシリーズも最終章となりました。

聖書、典礼、たとえ話などを教材を使って、初聖体の準備までの年齢を対象として扱ってきました。今回を含めて12回という回数に限られているために、体系的に連続したものとなりませんが、なにかのヒントになりましたでしょうか。

ここでは、最後の晩餐から、聖霊降臨後の使徒たちのミサ、そしてその後継者司教、司祭がささげるミサについて歴史の出来事として、模型を使って考えてみましょう。

○教材

- ・最後の晩餐の食堂、イエスと使徒たちの人形（写真A）
- ・聖霊降臨後の使徒たちのミサ〔キューポラをとりかえる〕（写真B）
- ・司教のミサ、祭壇、十字架（写真C）
- ・司祭のミサ（写真D）

イエスさまの生涯の出来事として最も大切な要素、最後の晩餐の場面、様子を模型で再現できるように努力してみましょう。

イエスさまは過ぎ越しの祭に、ご自分の死と復活を通して完成される人類の救いの神秘を、パンとブドウ酒をご自分の御体と御血に変化させて、記念として、神の国の完成まで続けるようにご命令になりました。



写真A



写真B

・マテオ26章17～35

・マルコ14章12～31

・ルカ 22章 7～34

・ヨハネ13章 1～38

この箇所を小冊子として書きとります。朗読しながら模型の人形を動かしていきます。

先生は動作、朗読しながら晚餐の場面に人形を並べ、イエスさまのみことば、聖変化を唱えます。

二人の子供は、朗読と人形の動作を先生の模範にならって動かします。鈴を鳴らして注意を喚起させることもできます。

イエスさまは使徒たちに「私の記念として、これを行いなさい」と命令されました。使徒たちはイエスさまのご命令を守り、受け継ぎました。そして、それらの権能を使徒たちに伝えました。

使徒たちの後継者は、司教さま、司祭さま（神父さま）たちのことです。

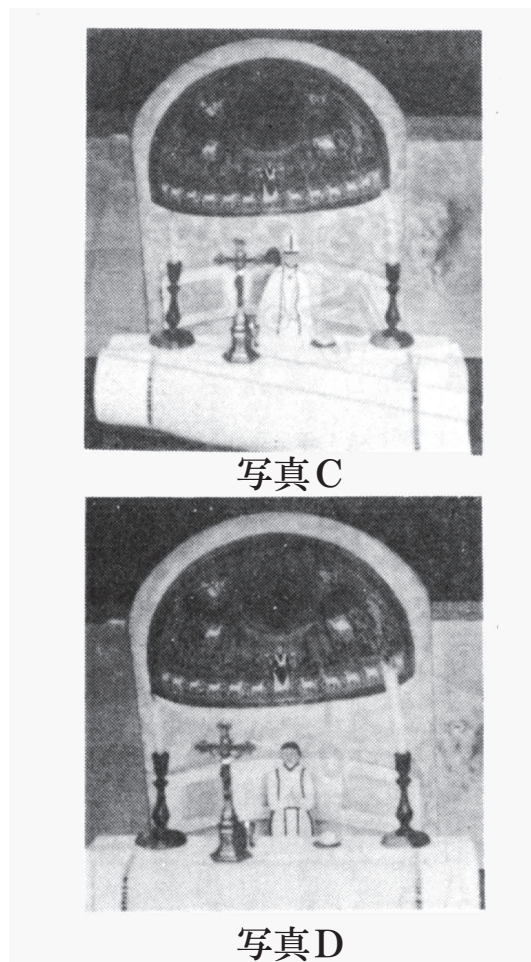
司教さま、司祭がたはミサの中でイエスさまと、使徒たちが行ったのと同じことばで、パンとブドウ酒をご聖体に聖変化させます。子供たちも先生と一緒に、このことばを唱えてみましょう。模型の人影を、晚餐、ミサ、司教、司祭と取り替えながら繰り返してみましょう。

*

*

*

ミサにおいて栄光のイエス・キリストの現存を私たちに示し、聖霊の泉から、御父の大きい賜物を受けるために、私たちはいつも出会うことのできる秘跡、ご聖体に対して、いつも喜びと、感謝、伸への賛美の心が持てるように配慮しながら、教材を取り扱うようにしましょう。



写真C

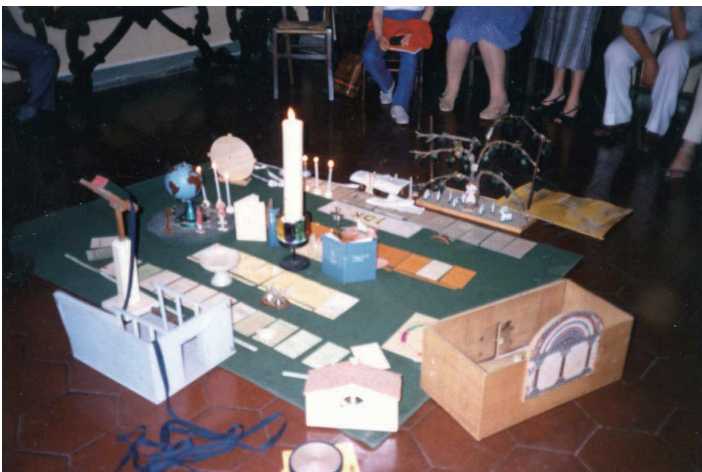
写真D



参考写真E－最後の晩さん（拡大1）



参考写真F－最後の晩さん（拡大2）



参考写真G－教材全体